

第 1 1 2 回東北地方交通審議会  
船 員 部 会 議 事 要 録

平成 3 0 年 2 月 2 3 日  
東 北 地 方 交 通 審 議 会  
船 員 部 会 事 務 局

# 東北地方交通審議会 第112回船員部会

日 時 平成30年2月23日（金） 15：30～

場 所 仙台第4合同庁舎 4階会議室

出席者 公益委員：長谷部部会長、高橋(真)部会長代理、  
佐々木委員（欠席）、森委員  
労働者委員：熊谷委員、高橋(雅)委員（欠席）、津田委員  
使用者委員：齋藤委員（欠席）、白幡委員、平岡委員（欠席）  
運輸局：畠山海事振興部長、阿部海事振興部次長  
和田船員労働環境・海技資格課長  
澤村船員労政課長、大友労政係長

議 題 (1) 船員の特定最低賃金の改正決定に関する公示について  
(2) 管内の雇用等の状況について  
(3) その他

## 配付資料

資料1 船員の特定最低賃金の改正決定に関する公示  
資料2 船員職業安定業務取扱状況説明資料（12月分）  
資料3 新規求人・求職数（東北管内：3年対比）  
資料4 有効求人・求職数（東北管内：3年対比）  
資料5 新規求人・求職数（全国）  
資料6 有効求人・求職数（全国）  
資料7 有効求人倍率（東北管内）  
資料8 有効求人倍率（全国）  
資料9 平成29年度管内水産高校等新規学卒の就職内定状況  
資料10 新聞情報

## 議 事 概 要

### ◎開 会

#### 【阿部海事振興部次長】

〔第112回船員部会の成立状況について報告〕

〔配付資料確認〕

### ◎議 事

(1) 船員の特定最低賃金の改正決定に関する公示について

#### 【長谷部部会長】

それでは、議事に入らせていただきます。

お手元にごさいます議事次第の「議題(1) 船員の特定最低賃金の改定決定に関する公示について」、事務局のほうから報告ください。

〔澤村船員労政課長から資料1に基づき説明〕

#### 【長谷部部会長】

ありがとうございました。4月5日から発効ということですね。

何かご質問等ございますか。ありませんでしたら、ご了承いただいたということで、先に進めさせていただきます。

(2) 管内の雇用等の状況について

#### 【長谷部部会長】

では、お手元の議事次第の「議題(2) 管内の雇用等の状況について」、事務局のほうからお願いします。

〔澤村船員労政課長から資料2～8に基づき説明〕

#### 【長谷部部会長】

ありがとうございました。

ただいまの報告の内容につきまして、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。よろしいですか。では、ご了承いただいたということで、次に進めたいと思います。

(3) その他

#### 【長谷部部会長】

続きまして、「議題(3) その他」です。最初に、事務局のほうから資料9の平成29年度管内水産高校等新規学卒の就職内容状況について説明をいただきます。

〔澤村船員労政課長から資料9に基づき説明〕

#### 【長谷部部会長】

ありがとうございました。

森委員からも海技教育機構の求人・就職に関する資料提供をいただきましたので、

まずご報告いただいてから、併せてご意見、ご質問等いただきたいと思います。

森委員、お願いします。

#### 【森公益委員】

お手元にあるこの資料ですが、「海上産業求人状況年度別比較」ということで、27年から29年を比較したものを載せております。左上の表が1月末現在のデータで、3年分を載せております。それを棒グラフにしたのが右側の「区分別求人状況比較」です。更に「月別求人状況比較」として、下に折れ線グラフで表示しております。

まず、左上の表の求人状況ですが、「外航労務部会」は28年度1月末15名だったのが、今年は9名、マイナス7名で、前年度比53.3%。「その他外航」が前年度27名に対しまして今年37名、プラス10名で137%。「内航3団体」が前年度103名、今年127名でプラス24名、123.3%。「その他内航」、前年度501名だったのが今年は450名、マイナス51名、89.8%。「タグ作業船」が前年度197名、今年201名、プラス4名、102%です。「旅客船協会等」が前年度145名、今年177名ということでプラス32名、122.1%の割合になっています。トータル、昨年度988名、今年1,000名ちょうどで、プラス12名、割合は101.2%になっております。

水産系と公務員系の求人は載せておりませんが、水産系が73名、公務員系が159名の求人が来ており、トータルで1,232名の求人となっております。

海技教育機構8校で420名が新卒の定員ですので、1,000名と比較しますと、大体2.2倍ぐらいになろうかと思えます。昨年同様、非常にたくさんの求人をいただいております。

続きまして、資料の裏になります。「就職内定状況」については、これは表側の数字もそうですけれども、海技教育機構の8校の卒業予定者に対する就職内定状況になります。左側の表が2月1日現在のデータで、右側の表が参考のために昨年度のデータを載せております。

まず、左側の表ですが、「本科」は4校ありまして、卒業予定者が152名、括弧内は女子の数で、内数です。就職希望者が127名（1）、内定が124（1）、内定率が97.6%、未定者は3名。進学希望が25名（1）、進学は24名（1）、未定者が1名です。「専修科」としては、短期大学校が3校で卒業予定者が240（13）、就職希望が230名（12）、内定が217名（9）、94.3%で、未定者が13名（3）。進学希望が10名（1）で、進学確定しているのが9名（1）、未定者が1名。「海大」は26名卒業予定で、25名が内定、96.2%、未定者は1名。進学はありません。トータルで418名のうち383名（13）が就職希望で、現在決まっているのが366名（10）、95.6%。それで、17名（3）が未定。進学が35名（2）の希望者で、進学が決まっているのが33名（2）、未定者が2名ということになります。

ただ、就職希望のこの17名ですけれども、ほとんど船社さんのほうに書類は出してございまして、随時、内定が決まっていつている状況です。ちなみに、宮古海上技

出短期大学校が先ほどの事務局の資料9で1名未定になっておりますが、現在決ま  
りまして、全員就職が決まりました。

下のグラフが内定率を25年、26年、27年、28年、29年、過去5年分を折れ線グラ  
フで示しております。ただ、「海技大学校」が非常に下がったように見えますが、  
実際は1名だけの減となっております。以上です。

【長谷部部会長】

ありがとうございました。

ただいまのお話と、先程の事務局からの内定状況と、2つの資料をいただきました  
が、ご意見、ご質問等ありませんか。

【白幡使用者委員】

森先生にお聞きしますが、「外航労務部会」の求人数が年々減っていますけれど  
も、この要因は何でしょうか。

【森公益委員】

ちょっとわかりませんが、27年度が42名と特別求人の多い年であったため28年度  
以降が大きく減っているように見えますが、その前は28年度と同じ15名とか20名で  
した。ちょっとその辺は不明ですね。

【白幡使用者委員】

元、私もこの外航労務部会の船員の一人だったので、すごく気になりました。

【長谷部部会長】

実際の理由はそのうちだんだんと明らかになっていくだろうと思いますが、本当  
のところはなかなか難しいということで、ご了解ください。

ほかにございますか。

ありませんでしたら、情報提供等をいただきたいと思います。最初に労働者委員  
のほうから何かございますでしょうか。

【熊谷労働者委員】

前回お話ししましたが、いわき海星高校の練習船、福島丸が予定どおり今月27日  
の9時頃に小名浜港に帰港し、その後、来月の7日に建造した石巻の〇〇造船に回  
航するという事です。以上、情報提供です。

【長谷部部会長】

ありがとうございます。順調に動いているということですね。

ほかにございますか。

【津田労働者委員】

八戸では、中型イカ釣り漁船が昨日、今日と入港しまして、本年度の漁期を終了  
する見込みとなりました。水揚げ数量、水揚げ金額は、昨年をちょっと下回る結果  
になるだろうという関係者の話でした。世間を騒がした外国漁船による日本海での  
スルメイカ操業という妨害等々もあってそのような結果になったのだろうと思っ  
ております。海上保安庁もしくは水産庁で、今年度も取り締まりを強化していただき

ましたが、来年度に向けて更なる強化をしていただければという思いであります。  
以上です。

【長谷部部会長】

ありがとうございます。

何かご質問等ございますか。日本海某国某事件はどんなものでしょうか。

【津田労働者委員】

日本海の大和堆、武蔵堆というところがイカの漁場であるわけですが、安心して漁ができないということで、八戸のイカ釣り漁船もやむなく漁場を変えざるを得なかったと現場の乗組員から聞いております。木船で来ていて、シケ模様になると、船も小さいし、レーダーにも映らないような状況で、海上での事故を心配する声が一番多く現場の声として上がっていました。また、日本の200海里内の排他的経済水域の中であり、ここでの安全を一層何とかしてほしいという声が上がっています。

【長谷部部会長】

今後、某国のいろいろな事情がわかってくると思いますが、なかなか深刻な事態ではあると思います。

よろしいでしょうか。

では、使用者側のほうからはいかがでしょうか。

【白幡使用者委員】

21日に日本旅客船協会の政策部会がございまして、その中で、直接小さい船会社については関係ないのですが、大型の長距離フェリー等々を対象にIMOが2020年までにSOx規制をかけてくるわけですけれども、31ページの新聞資料にも延期の公算なしというような記載がありましたが、船主さんのほうでは今の時点でなかなか打つ手がないということです。今後、どのようなスケジュールで2020年に間に合わせていくか、石油連盟含め、今、話し合いをしているとのこと。実質的に、漁船とか、我々の船会社みたいな小さいところは対象にはなりません、C重油を燃料としているオーナーさんにとっては、燃油の単価も当然上がってきますので、経営に大きく響くということで、非常に頭を悩めているというところ。それと、2020年に向けたオリ・パラに向けた交通バリアフリー法が2月の頭頃改正になりました。今まで、定期航路にのみ法が適用されていたものが、不定期航路の旅客船に関してもこのルール改正が適用されてくるということで、日本全国の小型旅客船で営業している方々にとっては、非常に経営的に厳しいとのご意見を国のほうにも上げております。この部分に関しては、恐らくトン数制限が設けられ、100とか200とか、それ以上の船が適用になるのかと思いますが、まだ、その辺の細かいトン数の規制等は決まっておりません。以上です。

【長谷部部会長】

ありがとうございます。いろいろありますね。勉強になりました。

ほかにはございませんですか。

1つだけ教えてください。東シナ海のほうでタンカーの衝突・火災漂流・沈没事故がありました。揮発して目には見えない積み荷に関して、環境破壊みたいなものは関係者内で何か言われているのですか。

油なら、何とか人海戦術できれいにできるかもしれないですが、揮発性だと何ともできない。漁業関係者などは特にいろいろ大変かなと思いました。

【白幡使用者委員】

流出した油については、昔は洗剤をまいて中和させて処理したが、今はやりませんよね。

【津田労働者委員】

中和剤は国際規制でだめになっています。

吸着マットなどで油を吸着させて、それを船に積んで回収しています。昔のやり方では、海底に沈殿してしまいます。そういうのがたまって、だんだん国際問題になった経緯がありました。

【白幡使用者委員】

国のほうでも船体の構造について、原油流出を防ぐため二重にするということで、今、規制かけようとしていますよね。要するに外板に穴があいても二重になっているので油が漏洩しないという構造になっていくんじゃないですか。

【長谷部部会長】

昔の軍艦みたいですね。

【白幡使用者委員】

そうですね。

【長谷部部会長】

そうしたら、船価も高くなるでしょう。わかりました。

ほかに何かございますでしょうか。

ありませんでしたら、これで本日の議事終了というふうにさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。どうもありがとうございました。

次回の船員部会、3月23日の15時30分からということになります。会場はここ4階の会議室で開催いたします。

◎閉 会